



家庭児童相談室の窓から

東日本大震災の発生を知ったとき、真っ先に心に浮かんだのは、丹野喜久子先生はご無事だろうか、ということでした。丹野先生は児童福祉学がご専門で、かつて社会福祉研究所の所長だった方です。本学を退職なさって、故郷の仙台にお帰りになっていました。

丹野先生の安否を確かめてくださった方のお陰で先生のご無事がわかり、あわてて先生に電話をしました。現地の生活の大変さは連日報道されていましたが、熊本時代とお変わりのない明るい声をお聞きして、心から安堵しました。近くまで津波が押し寄せ、近隣には倒壊した住宅も多数あったそうですが、お身体もお住まいもご無事で、室内で壊れた物もほとんどなかったそうです。

マスコミ報道を通じて現地の様子はなんとなく知っているつもりでした。けれど、丹野先

生のお話をお聴きしたとき、まるでモノクロの写真がパッとカラーに変わるように、そこで起きていることがリアルに迫ってくるような気がしました。もちろん、先生の描写や分析が緻密でわかりやすいからですが、それだけでなく、先生がご自身の体験を直接語ってくださったからだと思います。「語り」には、「情報」の集積にはない、特別な力が宿っていることを改めて感じました。

丹野所長時代、本誌に「家庭児童相談室」の特集が組まれたことがあります(31・32号)。「このささやかな相談室をたずねてくる地域の子どもやその親たちの相談の中の子もたちの声や願いに耳を傾け、言葉の奥の声をききわけようとする時、今の日本の社会の重たい問題が凝縮していることに気付かされる」という丹野先生の文章をじっくりと読み返しました。

(家庭児童相談室 相談員 砂川真澄)

家庭児童相談室のご案内
あなたの安えに…
家庭のこと、子どものこと、自分のこと

熊本学園大学付属社会福祉研究所 家庭児童相談室

家庭や家族に関する問題や、子どもさんのことについて
ご相談をお受けします。ご心配なこと、お困りなことが
ありましたら、お気軽にご利用ください。

受付 休曜日10:00~15:00/営業日10:00~15:00
(12:00~13:00は昼休み)
基本無料、初診日は料金を、費用は無料です。

相談室電話 ☎ 096-364-8732

発行所 熊本学園大学付属社会福祉研究所

〒862-8680 熊本市大江2-5-1 ☎ 096-364-5161 (内線1753)

発行人 所長 守弘仁志 編集人 社会福祉研究所委員会

印刷所 コロニー印刷 ☎ 096-353-1291



■古紙再生率100%の再生紙を利用しています。

■揮発性有機化合物発生の抑止と紙のリサイクル性に優れた「大豆インキ」を使用しています。